

---

# 魔法少女リリカルなのはStrikerS KH

ニクス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのはStrikers KH

### 【Nコード】

N2349Y

### 【作者名】

ニクス

### 【あらすじ】

キングダムハーツのソラとリクが、『魔法少女リリカルなのはStrikers』の世界に来てしまった。

## まだ見ぬ世界へ（前書き）

はじめまして、ニクスと申します。

初めて執筆しますので、誤字脱字や表現が下手かもしれませんがよろしく願います。

## まだ見ぬ世界へ

光と闇の間の世界で、ソラとリクが協力し、ゼムナスを倒すことができた。

その空間に存在する見知らぬ浜辺にいた二人の前に、流れ着いた瓶の中にはかつてデステイニーアイランドの浜辺に流したカイリが書いた手紙が入っていた。

カイリの手紙を読み終え、目の前に光が差し込み扉が開いた。それを見た二人は、共にその扉の中に入っていった。

これで自分たちの世界に帰れると思った二人だったが、その世界は二人の知らない世界だった。

## まだ見ぬ世界へ（後書き）

どうだったでしょうか？

まだ一話だから表現が下手かもしれませんが、これからもよろしく  
お願いします。

ここは、何処だ？（前書き）

どうもニクスです。  
連続投稿です。

「ここは、何処だ？」

「ミッドチルダの郊外の森」

そこには、ソラとリクが眠っていた。

「う、うん。あれ？ここは、何処だ？」

「おい、リク！起きろよ！」ソラは、リクを起こし始めた。

「なんだよ。ソラ、何かあったのか？ってここ何処だ？」

リクは、周りのを見渡した。

二人の知っている世界なら、海の近くなので、波の音が聞こえてくるはずだ。

だが、ここからでは、森の木々が風で揺れている音だけだった。

「なあ、リク。まさか、違う世界に来てしまったのかなあ。」

ソラも周りを見て、ここが違う世界だと思い始めた。

「なあ、まだ明るいから少し歩いて進まないか？」

と、リクが提案した。

「確かに森を抜けるには、1日で済むとは思わないけど食料とかも、確保しないといけないし、そうするか！」

そうして、二人は森の中を進み始めた。

## 時空管理局

↳機動六課 管制室↳

「なんだ！この魔力反応は、小規模だが次元震発生した！」

管制室にいたグリフィス・ロウランが、モニターで作業中に魔力反応を観測した。

「八神隊長に報告しないと！」

グリフィスは、すぐに別のモニターを表示し八神はやてに連絡した。

↳機動六課 隊長室↳

そこには、八神はやてが数日前に起きた事件に関してガジェット・ドローンの情報を見ていた。

「前の事件で、新型のガジェットがでてた。これは、本格的に動き始めたと考えたほうがええんやろつなあ」

ぴゅっぴゅっ

「はい、こちら八神。どないした？」

「こちらロングアーチ。ミッドチルダ郊外から小規模ですが、次元

震を観測しました。」

「ほんまか！分かった。何かあるかわからんから、こっちからスターズとライトニングの連絡するわ」

はやては、ロングアーチからの連絡を受け、すぐに念話でなのはとフェイトに報告した。

（こちらははやて、なのはちゃん、フェイトちゃん聞こえるか）

（聞こえるよ。はやてちゃん）

（こっちも、聞こえるよ。はやて）

（あんな、ついさつき小さいけど次元震が発生したんや。悪いんだけど、ちょっと見てきてくれへんかな？）

（わかった。こちらは、フォアードのみんなに伝えてから行くからフェイトちゃん先に行って）

（うん、いいよ。それじゃ先に行くね。なのは）

そして、フェイトはすぐに移動した。

「バルディッシュ、セットアップ」

フェイトは、バリアジャケットを身にまとい、飛び立った。

「こちら、ライトニング1からロングアーチへ。次元震が発生した場所をバルディッシュに送ってもらえるかな？」

「こちらロングアーチ。座標データを今から送ります」

「マスター。座標データを受信しました」

「バルディッシュ、見せて。ここから少し行った先の森かあ。もしかしたら時空漂流者かもしれない。生命反応があったら教えてねバルディッシュ」

「了解しました。マスター」

そして、移動し始めた。

〈訓練所〉

そこには、なのはとフォアードたちがいた

「はーい、みんなあ。訓練の途中なんだけど、急用が出来たので今日はここまでにします。前の事件から続けて訓練してるからちゃんと体を休ませてね。」

「……はい……」

「では、解散」

そう言うと、疲れ気味のフォアードたちは機動六課の隊舎に戻って行った

「こちら、ロングアーチからスターズ1へ。次元震があつた場所の座標データを送ります」

「了解」

「受信しました。マスター」

「ありがとう、レイジングハート。それじゃ、いこうか」

「レイジングハート セットアップ」

なのはもバリアジャケットを身にまとい移動した。

## 時空管理局（後書き）

個人的ですが、感想をもらえると嬉しいですね。  
SEEDさん、感想ありがとうございます。  
これからもお願いします

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2349y/>

---

魔法少女リリカルなのはStrikerS KH

2011年11月6日04時09分発行